

【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策】小学校部会

「新型コロナウイルス感染症の対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」より抜粋

◆大会当日の行動における注意事項(関係者に配布し各自、熟読のうえ小学生に伝達すること。)

- ・ **感染症対策が遵守できないと運営側が判断した場合、大会途中でも中止を宣言する。**
- ・ **原則として選手及び関係者すべての健康・安全の確保を最優先とする。**
- ・ **体調不良の方の出場および来場を禁止する。**
- ・ **選手・大会関係者が必ず持参する物：①マスク(3枚以上)②外履きを入れる袋**

●体育館の行動

- ・ 体育館に入場するすべての方は、当日の朝、検温を行うこと。万一、発熱、倦怠感、咳、咽頭痛などの自覚症状がある方は、来場を控えること。(入場時に運営側にて入口で検温を行う。)
- ・ 入場時に、「**健康確認シート**」を提出すること。(HPよりダウンロード)
提出が無い場合は入場及び大会参加を認めない。当日の棄権扱いとし参加料の返却も行わない。
- ・ 館内では**マスクを着用とする**。(試合中以外)
- ・ 交換用のマスクを準備して使用済みは、各自で処分する。
- ・ 体育館入場の際、入口に準備してある消毒位置にて消毒を行い2階観覧席に速やかに移動すること。
- ・ 靴箱の使用を禁止し外履きを各自持参した袋に入れ自己管理を行う。
- ・ 試合後は消毒位置にて消毒を行い2階観覧席へ向かうこと。

●選手及び観客(応援者)の入場制限について

- ・ 事前に発表する試合スケジュールおよびタイムテーブルにより分散入場を指示する。
- ・ 2日間に分散し各家庭1名の応援者とするが小学生の大会では、幼児を連れてくることが予想されるため、各家庭で預けるなどの対策をできるだけお願いする。
- ・ 保護者以外の監督、指導者、コーチも必要最小限でお願いする。

●大会当日について

- ・ 開閉会式は館内放送を通じて応援席にて行い、表彰式は簡略のうえ表彰者のみをステージにて表彰とする。
- ・ 換気のタイミングや換気時間ある程度決め試合を一時中断し換気を行う。
- ・ 主審・線審は参加人数制限の緩和策として小学生及びその関係者による審判を基本とする。
- ・ 主審・線審を行う方は、資格の有無を問わない。
- ・ 主審を行う審判資格者は、審判手帳を提出し確認印を受けること。
- ・ コールの後に2階観覧席よりステージ横の階段を利用し指示されたコートに入ること。
- ・ 1階フロアーへは、**ステージ横の階段のみ(2か所)**を使用しそれ以外は、すべて締切りとする。
- ・ 階段下に準備してある消毒台で消毒を行いコールされたコートへ行き試合開始を待つ。
- ・ 試合後、審判後も階段下の消毒台で消毒を行い2階観客席へ移動する。
- ・ 1階会場の各コートには、選手、審判、監督(コーチ席1名)のみとする。
- ・ コートサイドには、トーナメントバッグの持ち込みを許可し飲み物、タオルなどを収容させる。
- ・ 試合前・試合後に各コートに置いてある消毒液で主審・線審・選手・コーチの手を消毒する。(該当の主審により行う)
- ・ 試合中を除きそれ以外ではマスクを着用とする。(試合中のマスク着用も可とする。)
- ・ 試合中の掛け声、ダブルスでのタッチなどを極力抑えること。
- ・ シャトル交換は、主審台に準備してある籠に投げ入れ新しいシャトルは、その選手が取り換える。
- ・ 各コートのモップ掛けは、ゲーム毎の試合終了後に当該選手にて行う。
- ・ 試合前・試合後の握手は、行わず挨拶のみとする。
- ・ ステージ下でスコア受け渡しを待つ間は、2m間隔のマークの位置上で待機すること。
- ・ 応援は指定された2階席で行い、応援のために移動は行わない。
- ・ 応援は、声援をおさえ拍手での応援をお願いする。
- ・ 昼食の時間は特にもうけない。指定された座席およびフロアーにて間隔は、2m以上を保ち食事の会話を控える。
- ・ 自身の試合・役割(審判等)が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅をすることを推奨する。
- ・ ごみ処理(マスク等)は、各自持ち帰り自宅にて処分する。

感染者が横這いの傾向ではありますが大会中止も視野に入れ十分検討した上で、上記の処置により大会開催を決定いたしました。

大会参加については、小学生を対象とした大会ですので全てに対しご家庭及び団体指導者での判断による参加とさせていただきます。

大会中、大会後に発症を確認した場合は、団体(個人)の代表者が大会運営者に必ず報告すること。